DocAve®

Governance Automation 2

リリース ノート

For Microsoft® SharePoint®

リリース日: 2017 年 6 月 29 日

The Enterprise-Class **Management Platform** for **SharePoint**® Governance

新機能と強化点

- Governance Automation 2 のテーマが変更されました。
- **設定** > **洗い替えプロファイルの管理** > **洗い替えの設定** > **所有権の洗い替え** で所有権洗い替え用タスクによる指名を受けたユーザーが、サイト コレクションの連絡先を新しいユーザーに割り当てることが可能になりました。
- **動的モード** で **サイト コレクションの作成** サービス、**サイトの作成** サービス、**ライブラリ / リストの作成** サービス、および **カスタム サービス** を使用することが可能になりました。
- **動的モード** サービス経由で、**要求の開始** で実行されるカスタム アクションを構成することが可能になりました。
- **動的モード** サービスでメタデータを指定の位置に追加することが可能になりました。これにより、サービス要求に表示されるメタデータのシーケンスを定義し、メタデータを要求フォームの残りのセクションの条件として運用することが可能になります。
- ユーザー選択ウィンドウ上の表示ユーザーにカーソルを移動すると、該当するユーザーのログイン名とメール アドレスが表示されるようになりました。
- **サイト コレクションの作成** サービスと **サイトの作成** サービスで、**連番** オプションまたは **ランダム文字列** オプションを使用して URL を自動的に生成することが可能になりました。
- **サイト情報カードの管理** が追加され、**サイト情報カード** アプリ パーツに表示される情報を選択することが可能になりました。
- 部署に関する設定が削除され、部署メタデータの作成が可能になりました。
- ページ **個人用のタスク一覧の表示** > **個人用タスク**、**個人用要求の表示** > **送信済み要求**、**モニターとレポート** > **すべての要求・すべてのタスク** が改善されました。
- **設定** ページに検索ボックスが追加され、機能名のキーワードを入力して特定の機能を検索することが可能になりました。
- **個人用サイトの作成** サービスと **コンテンツ移行** サービスが **サービス管理** から削除されました。これらのサービスの使用を希望される場合は、AvePoint 技術サポートまでお問い合わせください。
- 通知メールに表示される Governance Automation 内部ログイン URL (メール テンプレートに挿入される Governance Automation リンク参照) を、外部ログイン URL に置き換えることが可能になりました。詳細については、DocAve Governance Automation 管理者向けユーザー ガイド内の説明を参照してください。

- **サイト コレクションのライフサイクル管理 - 削除サービス** と **サイト コレクションのライフサイクル管理 - アーカイブ サービス** それぞれに **サイト コレクション レコードの設定** フィールドが追加され、サイト コレクションが削除・アーカイブされた場合にサイト コレクション レコードを Governance Automation データベースから削除するかどうかを決定することが可能になりました。

  自動的に生成されたサイト コレクションのライフサイクル管理タスクを選択し、サイト コレクションを削除・アーカイブしようとする場合、オプション **Governance Automation データベースからサイト コレクション レコードを削除する** が提供されているメッセージが表示されます。このオプションを選択すると、**Governance Automation データベースからサイト コレクションに関連する要求・タスク レコードをすべて削除する** を選択することが可能になります。

- **サイト コレクションのライフサイクル管理** サービスに **サイト コレクション レコードの設定** フィールド、**サイトのライフサイクル管理** サービスに **サイト レコードの設定** フィールドが追加され、サイト コレクション / サイトが削除・アーカイブされた場合に、サイト コレクション / サイトのレコードを Governance Automation データベースから削除するかどうかを決定することが可能になります。
- **設定** 画面のレイアウトが再構成され、**要求の管理**、**SharePoint**、**システム** グループに分割されました。
- サービスの構成画面に、**常にこの承認プロセスを実行する** と **以下の条件が満たされた場合にこの承認プロセスを実行する** オプションが追加されました。
- 進行中の要求の状態バーに承認プロセス名が表示されるようになりました。
- インストール ウィザードで、Governance Automation を Azure 仮想マシン上にインストールし、Azure SQL データベースを DcoAve Governance Automation for SharePoint に作成することが可能になりました。
- 承認プロセスに **要求者と承認者が同一ユーザーである場合、自動的に要求を承認する** オプションが追加されました。
- XLS 形式に対応しているレポートで、XLSX 形式が使用可能になりました。

既知の問題

- Governance Automation インスタンスを Governance Auotmation 2 に更新すると、Web サイト上のアイコンが正常に表示できなくなる可能性があります。
  対処法: インターネット一時ファイルを削除して、再試行してください。

- Governance Automation **サイト コレクションのライフサイクル管理** - **サイト コレクションをアーカイブする** サービス要求を使用する際、該当するサイト コレクションに適用されている DocAve アーカイバ サイト コレクション プロファイル内で手動承認が許可されていると、Governance Automation 要求が承認されるとエラーが生成され、アーカイブが失敗となります。
  この問題は、**サイトのライフサイクル管理** - **サイトをアーカイブする** サービスに、手動承認が有効になっているルールを含むサイト レベルのアーカイバ プロファイルが適用されている場合にも発生します。
  対処法: DocAve アーカイバ サイト コレクション / サイト プロファイル内のアーカイバ ルールで、**手動承認を有効にする** オプションの選択を解除します。

- サービスと要求ページの **部署** フィールドは削除されましたが、ビジネス ユーザーが SharePoint ワークフローを利用する承認プロセスが含まれているサービス要求を送信して、IT 管理者が SharePoint でサービス要求リストを表示すると、**部署** 列が残っています。

- **サイト コレクションの作成** サービス > **サイト コレクション テンプレート** で、**コラボレーション** グループの下に **チーム サイト** を選択し、サービスを保存します。その後、サービスを編集し、**エンタープライズ** グループの下に **ドキュメント センター** を選択すると、本来であれば **サイト コレクション権限** フィールドで、**ドキュメント センター** タブの下に既定のグループが 7 件表示されるところ、3 件のみ表示されるというエラーが発生します。
  対処法: サイト コレクション権限 フィールドで **[すべてリセット]** をクリックすると、サイト コレクション テンプレートを再度選択することができます。

- SharePoint サイト コレクションおよびサイトにアプリ パーツを手動で追加し、このアプリ パーツを適用したサイト コレクションおよびサイトを Governance Automation にインポートすると、サイト コレクションおよびサイトは正常にインポートされますが、アプリ パーツが SharePoint サイト コレクションおよびサイトに繰り返し追加されてしまうというエラーが発生します。
  原因: これは、Microsoft SharePoint API の制限に起因します。

- **ライブラリ / リストの作成** サービス > **範囲** で、ドロップダウン リストから **個人用登録済みサイト** を選択します。発行済みのサイト コレクションでリストを作成し、ファイルをリストにアップロードした後、リストをテンプレートとして保存します。**ライブラリ / リストの作成** サービスの **ライブラリ / リストのテンプレート** フィールドで、新規保存されたリスト テンプレートを選択し、サービスを保存してアクティブ化します。その後、ビジネス ユーザーがこのサービス経由で要求を送信し、承認者が生成されたタスクを承認

した後、ログイン ユーザーが生成されたリスト URL をクリックしても、新しく作成された SharePoint リストにコンテンツが含まれていません。

原因: これは、Microsoft SharePoint API の制限に起因します。

- K2 Studio で、K2 Workflow 名を編集し、K2 Workflow を排除し、K2 Workflow のプロジェクトを削除します。その後、Governance Automation **承認プロセス管理** に移動すると、使用可能なワークフローが表示されますが、編集したワークフロー名は変更されず、排除されたワークフローおよび削除したプロジェクトのワークフローが読み込まれるというエラーが発生します。

  原因: これは、K2 の制限に起因します。

- Governance Automation アプリを SharePoint へ展開します。このとき、Web アプリケーションには Azure Access Control Service (ACS) が構成されています。この状態で、Web アプリケーションのサイトにアクセスし、Governance Automation アプリをこのサイトに追加しようとしても、正常に追加できません。

  対処法: Azure ACS の接続を Web アプリケーションから除外します。これにより、Governance Automation アプリをサイトに追加することができるようになります。

- **設定** > **SharePoint アクセス許可レベルの管理** で、SharePoint アクセス許可レベルを選択してリボン上で **[編集]** をクリックします。**権限** フィールドで、権限を編集してアクセス許可レベルを変更し、**[保存]** をクリックして保存します。その後、**サイト コレクションの作成** サービス・**サイトの作成** サービス > **サイト コレクションの権限・サイトの権限** で、ユーザーへの権限の付与またはセキュリティ グループの権限の編集を実行する際に、変更済みの SharePoint アクセス許可レベルを選択します。ここで、ビジネス ユーザーが **サイト コレクションの作成** サービス・**サイトの作成** サービスのいずれかを経由で要求を開始しても、新規に作成されたサイト コレクションまたはサイトに適用される変更済みの SharePoint アクセス許可レベルは変化しません。

- DocAve 6 SP5 CU1 または SnapManager 8.2 for SharePoint と合わせて Governance Automation SP5 CU2 を使用する場合、スケジュール設定したストレージ マネージャー プロファイルを適用してサイト コレクション ポリシーを作成し、サイト コレクション作成サービスにこのポリシーを適用すると、このサービスの要求を送信後にエラー タスクが生成されます。

  この問題が発生するバージョンは、Governance Automation SP5 CU2 のみです。

- Google Chrome を使用して Governance Automation にアクセスし、**サービス管理** 画面に移動します。この時サービスを 25 件以上選択して、**印刷プレビュー** をクリックすると、ブラウザーのポップアップ ウィンドウが表示され、ページの応答がないというメッセージが現れます。その後ポップアップ ウィンドウがフリーズし、印刷ページが表示されます。

- 外部ワークフローを使用して承認プロセスを作成し、この承認プロセスを適用してサービスの要求を送信する際に、ここで生成されたタスクにコメントを付けて外部ワークフロー内で承認または却下し、Governance Automation インターフェイスに戻ってこのタスクを表示してもコメントが表示されず、また要求の却下および承認を通知するメールでもコメント参照に実際のコメントが反映されません。

- この問題は SQL Server 2012 にのみ発生します。複数の要求を送信し、SQL Server (MSSQLSSERVER) サービスを再起動します。ここでさらに追加で要求を送信し、この要求の ID を表示すると、要求 ID が正しく反映されません。例えば、サービス再起動前の要求の ID が 1、2、3 の場合、サービス再起動後の要求 ID が 1003、1004、1005 という形になります。

  対処法: SQL Server 構成マネージャーに移動します。SQL Server インスタンスを右クリックし、**[プロパティ]** を選択します。**[スタートアップ パラメーター]** タブをクリックし、**起動時のパラメーターの指定** テキスト ボックスに **-t272** と入力し、**[追加]** をクリックします。**[適用]** をクリックして構成を適用し、SQL Server 2012 インスタンスを再起動します。

- この問題は SQL Server 2012 にのみ発生します。Governance Automation で障害復元を構成します。Governance Automation 構成データベースが SQL Server 2012 にある状態で、本番ファームから障害復元用ファームに切り替えを行います。その後両環境で複数の要求を送信し、**個人用要求** > **送信済み要求** で要求の ID を表示すると、要求 ID が正しく反映されません。例えば、本番環境で送信された要求の ID が 1 の場合、障害復元用環境で送信された要求 ID は 1001 という形になります。

  対処法: SQL Server 構成マネージャーに移動します。SQL Server インスタンスを右クリックし、**[プロパティ]** を選択します。**[スタートアップ パラメーター]** タブをクリックし、**起動時のパラメーターの指定** テキスト ボックスに **-t272** と入力し、**[追加]** をクリックします。**[適用]** をクリックして構成を適用し、SQL Server 2012 インスタンスを再起動します。

- **既存のサイト コレクションおよびサイトのインポート** 機能を使用して、サイト コレクションをインポートします。代替アクセス マッピング (AAM) URL や拡張ゾーン URL など既定でないゾーン形式にサイト コレクション URL を入力し、コンテンツ移行要求を開始します。このとき、インポートしたサイト コレクションは移行先ノードのマッピングに含まれますが、移行先環境での登録状態は **未登録** のままです。この状態で要求を送信するとエラー タスクが生成され、エラー メッセージ (パブリック サイト コレクション ディレクトリへの移行先サイト コレクションの追加に失敗しました。) が表示されます。

- Governance Automation SP6 を、DocAve 6 SP5 CU1 と合わせて使用する場合、DocAve 6 SharePoint 移行で移行データベースが構成されていても、コンテンツ移行サービスで移行データベースの設定が使用できません。

- Internet Explorer 8 または 9 を使用して Governance Automation Web パーツにアクセスすると、Web パーツ上でサービスを作成し、**メタデータ** フィールドで新しいメタデータを作成する際に、**メタデータの作成** ウィンドウで **列の追加設定** フィールドが正常に表示されず、ボタンはテキストとして表示されます。

- 権限のクローンまたは転送要求を開始し、ツリーから SharePoint Online ノードを選択します。権限オプションとして **置き換える** を選択し、元のユーザーの権限に置き換える前に置き換え対象ユーザーの権限を削除します。この場合、置き換え対象ユーザーが SharePoint Online グループに所属していると、SharePoint Online グループに対する対象ユーザーの権限は置き換え処理後もそのまま残ります。

  対処法: DocAve の **コントロール パネル** > **登録済み SharePoint サイト** で SharePoint Online サイト コレクションを登録する際に、登録済みサイト コレクションに対してフル コントロール権限およびサイト コレクション管理権限を持つサイト コレクション ユーザーを入力します。

- **既存のサイト コレクションおよびサイトのインポート** 機能を使用してサイト コレクションおよびサイトをインポートしようとすると、エラー ページが表示されます。

  対処法: DocAve マネージャー > **コントロール パネル** > **セキュリティ設定** に移動し、ユーザー セッションの最大数を増やします。

- コンテンツ移行サービスに、マッピングを追加します。Web アプリを移動元範囲、SharePoint Online 管理センターを移動先範囲として設定し、このサービスの要求を開始します。マッピング セクションで、カスタム管理パスを使用するサイト コレクションを複数選択します。これらのサイト コレクションを、SharePoint Online に移行する要求を送信します。要求の承認後、エラー タスクが生成され、以下のメッセージが表示されます。「移行先サイト コレクションの作成に失敗しました。」SharePoint Online でサイト コレクションを作成する際に、管理パスをカスタマイズすることはできません。管理センターが移動元範囲として選択された場合、Governance Automation は移動元カスタム管理パスを処理することができません。

  対処法: コンテンツ移行サービスのマッピングを構成する際に、移行元ノードから管理パスを選択します。移行元カスタム管理パスが、選択された管理パスにマッピングされます。

- Google Chrome をブラウザーとして使用し、ADFS 認証を使用して Governance Automation にアクセスを試行する際、ユーザー名とパスワードを入力し、**[ログイン]** をクリックしても、ログイン インターフェイスから画面が切り替わりません。これは、ブラウザーに証明書エラーが発生し、送信リクエストが送信されなくなることに起因します。

  対処法: 使用する環境で証明書が信頼することにより、このエラーの発生は回避できます。

- 既存のサイト コレクションおよびサイトのインポート 機能を使用し、大量のサイト コレクションやサイトをインポートすると、途中でインポート ジョブが停止し全てのサイトをインポートすることができません。

  対処法: IIS マネージャーに移動し、Governance Automation のアプリケーション プールを指定します。右クリックして **[リサイクル中]** を選択します。**アプリケーション プールのリサイクル設定の編集** 画面で、**定期的な間隔 (分)** チェックボックスの選択を外します。

- 承認プロセスで、**外部ワークフローと統合** を選択し、SharePoint Designer ワークフローを選択します。承認プロセスを保存し、アクティブ化します。サービスを作成し、作成した承認プロセスを適用します。SharePoint Designer に移動し、承認プロセスで選択したワークフローを編集して、ワークフローを発行します。その後、このサービスに基づいた要求を送信すると、エラー タスクが生成されます。

  対処法: 要求を送信する前に、承認プロセスを編集して、修正した SharePoint Designer ワークフローを再度選択します。

- Internet Explorer 10 を使用して Governance Automation にアクセスします。サイト コレクション ポリシーを作成し、サイト ポリシー バーを有効化します。ここでポリシー アイコンの画像を表示すると、**Web ページ エラー** ウィンドウが表示され、エラー メッセージ **「アクセスが拒否されました」** が表示されます。

  原因: これは、Internet Explorer のセキュリティ制限に起因します。

  対処法: インターネット オプション > **セキュリティ** に移動します。**信頼済みサイト** をクリックして **サイト** ボタンをクリックし、Governance Automation の URL をゾーンに追加します。

- Google Chrome を使用して Governance Automation Web パーツがインストールされた SharePoint サイトにアクセスすると、Web パーツが表示されません。これは、信頼できる証明書が適用されていないことに起因します。

  対処法: Google Chrome で、**設定** > **詳細設定を表示** > **HTTPS/SSL** の順番に進みます。**証明書の管理** をクリックします。**証明書** ウィンドウで **インポート** をクリックし、エクスポートされた証明書をインポートします。**信頼されたルート証明機関** に証明書を保存してください。Web パーツの設定を構成する際、Governance Automation の URL が https://〈ホスト名〉:〈ポート〉 の形式になっていることを確認してください。

- DocAve コントロール パネル > アップデート マネージャー に移動し、Governance Automation のバージョンを SP4 から SP5 へアップデートしようとすると、アップデートの状態が 0% から変化せず、フリーズ状態となってしまいます。

  原因: これは、Governance Automation タイマー サービスの問題によるものです。Governance Automation のアップデート時、Governance Automation タイマー サービスを停止する必要が

あります。しかし、Governance Automation SP4 では通常タイマー サービスが停止しないため、アップデートがフリーズ状態となってしまいます。

- 対応フォーム機能は、Internet Explorer 8 では使用することができません。
- サイト コレクションでリスト・ライブラリ・フォルダー・アイテムなどを作成し、権限の継承を解除して、サイト コレクションに対してサイト コレクション ポリシーを適用します。その後、このポリシーで権限の洗い替えを有効化し、権限洗い替えタスクでサイト コレクションからグループの権限を削除すると、サイト コレクション レベルのレコードはハイライト表示されますが、サイト コレクションのリスト・ライブラリ・フォルダー・アイテムはハイライト表示されません。

  原因: これは、DocAve API の制限に起因します。Governance Automation では、どのデータが同じサイトに所属するのかを DocAve API が提供するデータから判別することができません。このため、サイト コレクション レベルのグループ権限を削除すると、Governance Automation はサイトに属するデータを判別できず、ハイライトできなくなります。

- コンテンツ移動サービスでセキュリティ トリミングがオンになっており、要求者が移動元サイトにアクセスする権限を持つものの、その中の移動元リストにアクセスする権限を持っていない場合、その移動元リストは要求が実行された段階で移動先のノードにコピーされます。セキュリティ チェックをアイテム レベルまで適用すると、パフォーマンスに問題が生じます。

  対処法: コンテンツ移動 サービスで、**セキュリティをコピーする** を選択します。これにより、移動元のユーザー権限が移動先へコピーされ、要求者は移動先の子ノードへのアクセスができなくなります。

- 代替アクセス マッピング (AAM) URL は、サイト コレクションのコンテンツ移動サービス リクエストに対して無効です。これは、SharePoint Online の専用インスタンスが、代替アクセス マッピング URL のユーザー名とパスワードを取得できないためです。

  対処法: 要求を送信する前に、DocAve にサイト コレクションの AAM URL を登録します。

- ライブラリ / リストを一括で要求する際、CSV ファイルに日本語でテンプレート名が入力され、その後 Governance Automation にインポートされると、Governance Automation のインターフェイスではインポートされたデータが表示されません。これは、CSV ファイルが ANSI を使用してエンコードされていることに起因します。

  対処法: CSV ファイルをメモ帳で開き、文字コードとして Unicode を選択して保存します。

- Governance Automation SP2 で、サービスでカスタム アクションを有効化します。実行ファイルおよび PowerShell スクリプト ファイルを DocAve エージェント ディレクトリ (*...¥Agent¥bin*) に保存し、サービスの要求を作成、送信、承認すると、カスタム アクションに基づいて承認プロセスが正常に実行されます。このとき、新しいサービスの要求を作成、送信する際にGovernance Automation を

SP2 から SP3 へアップデートし、SP3 環境で要求を承認すると、エラー タスクが作成され、カスタム アクション ファイルが存在しないという警告が表示されます。ここで、実行ファイルおよび PowerShell スクリプト ファイルを *...¥Agent¥bin¥GovernanceAutomation* にコピーし、エラー タスクを再度実行しても、エラーが消えずに発生し続けます。

原因: これは、実行ファイル名または PowerShell スクリプト ファイル名に文字と数字が含まれており、ファイル名の文字数が 4 の倍数の場合に発生します。また、Governance Automation SP2 で送信した要求では *...¥Agent¥bin¥GovernanceAutomation* ディレクトリ内の実行ファイル名および Powershell スクリプト ファイル名を取得することができません。

- 個人用サイトの作成サービス:Governance Automation の表示言語がフランス語で、Governance Automation 使用環境のシステム言語がフランス語ではない言語に設定されている状態で、一括モードを有効化してサービス要求を作成します。テンプレートファイルを CSV 形式でダウンロードします。この CSV ファイルの中では、列の名前がフランス語で表示されません。また、この状態で必要な情報を入力し、テンプレート ファイルをアップロードして、アップロードしたテンプレート ファイルのチェック アイコンをクリックしても、ファイルが無効となります。

  原因: これは、Governance Automation 使用環境のサーバーのシステム言語がフランス語でないことに起因します。

- このエラーは、Internet Explorer を使用して Governance Automation Web パーツへアクセスする際に発生することが確認されています。

  対処法: インターネット オプション > **セキュリティ** タブ > **信頼済みサイト** へ移動し、Governance Automation の URL (例: https://10.2.4.43) を信頼済みサイトへ追加します。ポート番号の設定は不要です。

通知

この発行に含まれている資料は AvePoint, Inc に所有または提供され、AvePoint およびそのライセンス提供会社のプロパティであり、著作権、登録商標ならびに他の知的所有権に関する法律によって保護されています。本書に掲載する通知および著作権の情報のいかなる削除ならびに変更も禁じます。

著作権

Copyright © 2017 AvePoint Japan K.K. All rights reserved. 本書の著作権は AvePoint Japan 株式会社に帰属します。本書の著作権は AvePoint Japan 株式会社に帰属します。本書に掲載されている情報はすべて日本著作権法において保護されており、内容の無断複製、更新、転載を禁じます。本書のいかなる部分、いかなる書式および電子通信、機械的送信、複写、記録などのいかなる方法、あるいは AvePoint Japan 株式会社 (〒 108-0074 東京都港区高輪 4 丁目 10-18 京急第一ビル 11 階)、ならびに本書に掲載する情報がサード パーティに所有される場合サード パーティによる事前の文書による許諾なしに複製、保存、送信を禁じます。また上記の如何に関わらず、本発行物内の AvePoint 関連の情報 (派生物及び変化物を含む) の何人による複製及び転載も禁じます。また、如何なる複製物並びに転載物も自動的に AvePoint に属するものとし、該当者または継承者、担当者、相続者、恩恵者、実行者のいずれも該当複製物並びに転載物を直ちに AvePoint へ返却し、必要書類に署名することに同意するものとします。

登録商標

AvePoint®、DocAve®、AvePoint ロゴおよび AvePoint ピラミッド ロゴは AvePoint Japan 株式会社による日本特許庁登録済みの商標です。 これらの登録商標および本書に使用されている他の商標はすべて AvePoint の専有プロパティであり、文書による許諾なしには使用できません。

Microsoft、MS-DOS、Internet Explorer、Office、Office 365、SharePoint、Windows PowerShell、SQL Server、Outlook、Windows Server、Active Directory、Dynamics CRM 2013 はマイクロソフト株式会社の商標または登録商標です。

Adobe Acrobat、および Acrobat Reader は Adobe Systems、Inc の商標です。

その他本書に掲載されている商標はすべて該当の所有者のプロパティであり、許諾なしに使用することを禁じます。

変更

本書は情報の提供のみを目的とし、通知なしに変更または更新される場合があります。当社では最新、そして正確な情報を提供するよう努力しておりますが、あらゆるコンテンツの誤りもしくは脱落に起因する間接的、派生的に生じた損害に対し、一切の責任を負わないものとします。当社は、ユーザーに対し予告、通知をすることなく AvePoint ソフトウェアのグラフィック ユーザー インターフェイスを変更する権利を所有しています。

AvePoint Japan 株式会社
〒 108-0074
東京都港区高輪 4 丁目 10-18
京急第一ビル 11 階